



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

生きものたちが華やいできました



カエルや野鳥の声に迎えられて谷戸に踏み入ると、季節の廻りにしたがって、たくさんの鮮やかな花々にも出会えます。

生きものに囲まれての農作業は、心が和んで、体ものびのびしますよ。お試しを。

お知らせ

ホタルの紙芝居を読んでもらえるボランティアの方募集!

谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを觀賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

日時：6/3・17・7/1・15 18:30～20:30

閉園時間帯につき駐車場は利用できません

集合場所：山崎口しいし前のベンチ

お申し込み&お問い合わせは事務局まで 電話 or Fax or メールにて

イオン環境財団助成決定

(公財)イオン環境財団より環境活動助成事業として谷戸塾が採択されました。生物多様性の保全活動に助成されるもので、今年で4回目になります。

総会

6月4日(日) 13:00～
鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室
懇親会(15時～16時)
ぜひ、ご参加ください。

●湿地は荒地か？

1. 手入れされた里山にはない環境 農家の立場では、田んぼをやめてアシが生える湿地になると、そこは里山ではなく荒地です。近年は全国的に荒地を含んだ里山が増えており、トンボやホタルのような里山の生きものが荒地も利用することから、生態系保護の観点から湿地のような荒地も評価されるようになりました。昔からの里山にはない新しい考え方が出てきたのです。
2. 湿地保全の考え方 尾瀬のような山奥の湿地は、専門家による研究がされていますが、里山の湿地は、現場で活動している人たちが試行錯誤しているのが現状です。山崎の谷戸や市内で約30年観た結果、次のようなことが分かりました。湿地は次第に乾燥化するとされているが、場所により差があり一概に言えない。湿地の乾燥化よりも、湿地が放任された結果、ツル植物の繁茂などが生態系や景観に影響を与えていることが重要。結論として、谷戸の湿地も田畑と同じく手入れをすることが必要ではないか。加えて、湿地の中にさまざまな環境が含まれているので、それぞれに手入れの仕方を変えていかなくてはならない。次回以降は湿地の中にある多様な環境と生きもの、手入れの方法について考えてみたいと思います。
3. 春は湿地が目覚める季節 寒いうちは枯れたアシやオギの間から、セリが青々と茂っているが目立ちます。3月になるとミゾソバの芽が一斉に発芽しますが、気付いている人は少ないようです。桜が散って新緑の季節になると、一斉にアシ、オギ、ガマなど湿地の主役が芽を出します。連休のころには早くも膝くらいの草丈に伸び、梅雨を迎えるころには背丈くらいの高さに伸び切ってしまいます。4月半ばから6月にかけて、湿地の植物が一気に成長する季節です。田畑の行き帰りに眺めてみてはいかがでしょうか。

谷戸往来

深沢中・玉縄中 3年生による

里山保全作業 2/22(水)、2/24(金)

鎌倉風致保存会主催の中学3年生による里山保全作業が行われ、深沢中と玉縄中総勢380名あまりの指導に協力しました。のこぎりや刈込みバサミを使い、友達と楽しそうに取り組んでいました。今年もすっきりとした春を迎えることができました。

オリエンテーション 4/9(日)

小雨の降る中、たくさんの方々にお集まりいただきました。(公財)鎌倉市公園協会 土屋常務理事、当会 相川理事長より挨拶のあと、各班のリーダー、サブリーダーが自己紹介をして新しいメンバーをお迎えしました。



谷戸の裏方

～ 柵直し ～

本田周辺の柵直しを、2年がかりで行っています。柵は生態系保全と谷戸の景観を守るために大切な役割をはたしています。作業の合間に行っています。



体験学習の予定


深沢小5年	4/25、5/29
小坂小3年	5/1
御成中1年	6/23、7/6

各班のお知らせ

田んぼ班

6月の田植えに向けて、最も忙しい季節です。稲苗作りの傍ら、田んぼでは稲株をひっくり返す「田うない」、鍬で畔をつけていく「くろつけ」、田んぼの泥をかくはんし、鏡状にならす「しろかき」と続きます。



 4/2 ため池のかいほり


畑班

新緑の5月となり、畑では大麦・小麦の収穫、冬より準備を進めてきたさつまいもの苗取りと植付け、6月になればたのくろ豆の種蒔きとじゃがいもの収穫、畑の整備と畑作業は目白押しです。

雑木林管理班

今年は春の訪れが遅く、例年4月初めの竹林整備作業のときには顔を出している筈が、まだ見られませんでした。秋から冬の作業も伐採した材の薪割で完了。土手の草刈り中心の春から夏の作業が始まります。



 去年の活動の様子

自然遊び班

子ども（親子）参加で、農体験や昔あそびをしています。農作業のお手伝いも遊びの延長！と楽しんで関わり、土や生きもの、どろんこ、はだし、触れて感じて過ごします。

農芸班

自然からの恵みをいただくと、何か豊かな気持ちをもたらしてくれます。谷戸の梅に手を伸ばして収穫作業が始まると、今年も梅仕事からスタートするのだと身が引き締まります。


植物育成班

（生態系保全班と共同活動）クズやつる草の除去、ササの刈込みを行い、藪になるのを防ぎます。また、野草生育地の手入れや移植を行い、貴重な野草を保護します。あわせて植物相の変化も調査していきます。

生態系保全班

湿地の保全を中心に、谷戸の生態系を保全していきます。カナムグラやセイタカアワダチソウを除去し、湿地の植物（アシなど）、動物（カヤネズミなど）、昆虫（キンヒバリなど）を保護していきます。



 カワトンボ

5月

3日(祝・水) 田 田うない ☆
 7日(日) 田 畔草刈り・苗床草取り ❖
 畑 ねぎの移植
 雑 薪作り ❖
 10日(水) 植 初夏のチョウの調査
 13日(土) 田 くろつけ
 14日(日) 田 くろつけ
 畑 大麦の刈り取り
 試食の日
 21日(日) 田 くろつけ ☆
 畑 さつまいも苗植え ☆
 24日(水) 植 クズの除去作業
 27日(土) 田 しろかき
 28日(日) 田 しろかき ☆
 畑 小麦の刈り取り ❖

田：田んぼ班 畑：畑班
 雑：雑木林管理班 農：農芸班
 自：自然遊び班 生：生態系保全班
 植：植物育成班

6月

3日(土) 田 田植え ❖
 生 夜の自然観察 ❖
 4日(日) 田 田植え ☆
 畑 さといもの草取り・土寄せ ❖
 総会 管理棟2階 14時～
 7日(水) 生 梅雨時のチョウの調査
 10日(土) 田 苗取り・田植え・紐張り
 11日(日) 田 田植え ❖
 畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
 試食の日
 14日(水) 農 梅干し作り(梅収穫・下漬け) ❖
 植 野草生育地の手入れ作業
 17日(土) 生 夜の自然観察 ❖
 18日(日) 田 田の草取り・補植
 畑 たまねぎ収穫
 雑 土手の手入れ ❖
 自 里山探検隊「谷戸しごと」
 青空自主保育 やんちゃお保全活動
 25日(日) 田 田の草取り
 畑 じゃがいも掘り・草取り
 雑 鎌を研いで草刈り ☆
 青空自主保育 なかよし会保全活動

7月

1日(土) 生 夜の自然観察 ❖
 2日(日) 田 田の草取り・苗床片付け ☆
 畑 にんじんの種蒔き ❖
 雑 土手の手入れ ☆
 自 こども里山一日体験
 「竹馬・竹笛で昔あそび」▶
 青空自主保育 にこにこ会保全活動
 5日(水) 植 田の植物観察
 9日(日) 田 田の草取り
 畑 さといもの草取り・土寄せ ☆
 雑 土手保全のための草刈り ❖
 15日(土) 生 夜の自然観察 ❖
 16日(日) 田 田の草取り ❖
 畑 畑の整備
 雑 草刈りして堆肥をつくる ☆
 17日(祝・月) 田 田の草取り
 19日(水) 農 梅干し作り ❖
 23日(日) 田 田の草取り ❖
 畑 草取り・土寄せ
 雑 土手の草刈り
 生 夏の昆虫観察 ❖
 26日(水) 生 水路の生き物の観察
 29日(土) 田 田の草取り
 30日(日) 田 土手草刈り・田の草取り ☆
 畑 さつまいもの草取り・つる返し❖



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ: <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報80号)は、2017年7月に発行予定

▶ 会員以外の方、参加費500円/未就学親子1組 ☆ 谷戸塾
 ❖ 一日里山体験 会員以外の方も参加できます。(要予約)
 夜の自然観察 18時半～20時半、山崎口しいし前ベンチに集合
 ※里山探検隊は、定員に達しましたので、申し込みを締め切りました。